

令和4年度 愛知県高等学校家庭科研究会 研究大会

令和4年11月16日、名古屋市博物館講堂において、令和4年度愛知県高等学校家庭科研究会研究大会が開催され117名が参加しました。

講演は、「高校生に伝えたい 『金融リテラシー』について」と題し、三井住友トラスト・資産のミライ研究所所長、丸岡知夫^{まるおか ともお}様に金融教育についてお話いただきました。

1 消費者教育「お金」のトラブル回避術

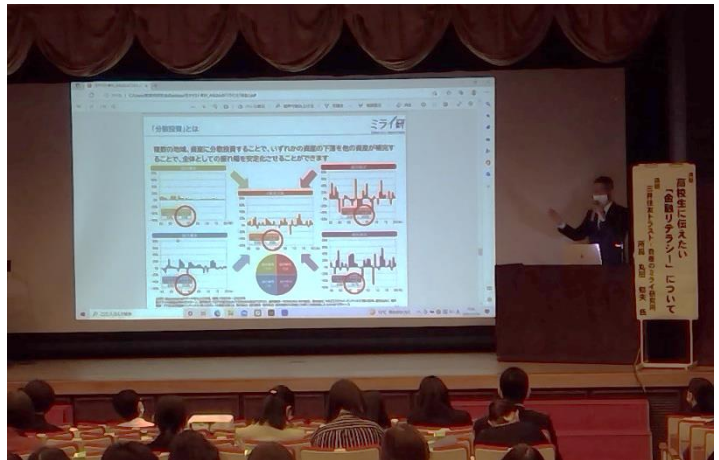
(1) トラブル例

- ①フィッシング詐欺
- ②ネット取引
- ③スマホゲームでの高額課金

大切なことは、お金を借りる時は目的をもって借りること、しっかりとした計画を立てることである。

「必要となるお金を貯めてから、買う」

が基本であり、これを実践するために、収入と支出を適切に把握することが重要である。



(2) みなさんの「ミライ」と「お金」

資産形成というと、資産運用や投資とイコールに感じるかもしれないが、まずはもっと身近に感じることから始める。どのような人生を送りたいかライフデザインをし、そのライフイベントにどれだけのお金がかかるかを把握する。人生の三大資金は住宅購入費用、教育関連費用、老後生活費用であり、老後資金は1億3400万円ともいわれる。手取り収入を把握することで、少額であってもコツコツとお金を積み立て続ければ、必ず大きな貯蓄ができる。それにより、人生の選択肢が増えることに繋がる。「お金」を適切に管理する力を身に付けることが経済的自立の第一歩である。

先取貯蓄をする、つまり、給与積み立て型の社内貯蓄をすることで、精神的に楽になる。投資とは、「投げる資産」であり、形を変えてお金を持つことである。例えば、国内債券、国内株式、海外債券、海外株式などがある。変える先はたくさんあるが、目的をよく考える。目的のある投資は投機ではない。また、ノーリスク・ハイリターンは無いため、リスクとリターンについてはよく考える必要がある。長期投資と分散投資が理想である。コツコツと積み立てながら長く運用を続けると、「複利」の効果でさらに資金は大きくなる。

「お金」について正しく学ぶことは、未来の生活を豊かにすることに繋がる。

2 出張授業について

令和4年10月末までで20校程度の実績がある。講演を希望される場合は、以下までご連絡してください。ただし、日程等によりご希望に沿えないことがあります。御了承ください。

三井住友信託銀行 ライフアドバイザー部 (名古屋)

種岡 実 Taneoka_Minoru@smtb.jp

※研究発表につきましては、研究紀要に掲載されますので、そちらをご覧ください。